



園 だ よ り

令和7年10月31日

朝晩の冷え込みに、秋の深まりを感じる季節となりました。子どもたちはお散歩へ行き、どんぐりや落ち葉を拾ったりと、秋の自然を楽しんでいます。今月は『SL フェスタ』『びわ湖こどもの国』に園外保育へ出かけたり、園庭で大きなお鍋で豚汁やご飯を作る収穫祭があります。



～ 11月の目標 ～

- ・自然の中でたくさん遊びながら、きれいな景色や季節の変化を感じ、豊かな心を育てる。
- ・「どうしてかな?」「こうしたいな」という気持ちを大切に、自分の言葉で表現できるようにする。

積み重ねの大切さ

子どもたちの成長を見ていると、「積み重ねることの大切さ」を日々感じます。最初はできなかったことも、何度も挑戦するうちに少しずつできるようになっていきます。靴を履くこと、お箸を使うこと、逆上がりができるようになること…。どれも初めから上手にできたわけではありません。うまくいかず、「できない」とあきらめたくなることもあります。先生やお友だち、そしてお家の方の温かい見守りの中で少しずつ挑戦するうちに、ある日「できた!」という瞬間を迎えます。その時の子どもたちの誇らしげな笑顔は、何にも代えがたいものです。

《積み重ねる》ということは、ただ同じことを繰り返すという意味ではありません。うまくいかなかった日も、気持ちが乗らない日も含めて、一歩ずつ進んでいくことです。時には立ち止まったり、回り道をしたりしながらも、子どもたちは確実に前に進んでいます。大人の目には小さな変化に見えても、その小さな一歩一歩の積み重ねこそが、大きな成長につながっていくのです。もちろん時間がかかりますが、そこに至るまでの過程、全てが宝物です。だからこそ焦らず、比べず、「今日もがんばってるね」「昨日より少しできたね」と、子どもの小さな成長と一緒に喜び合える毎日でありたいですね。

寒さが増していくこれからの季節、子どもたちが温かい気持ちで毎日を積み重ねていけるよう、私たち職員も一人ひとりの思いに寄り添いながら見守っていきたいと思います。